

## 「西梅田こころとからだのクリニック」における放火事件への声明

令和3年12月17日に「西梅田こころとからだのクリニック」で発生した火災により、大変残念なことでありますが、西澤弘太郎院長および複数のスタッフばかりでなく同院に通院中の患者の皆様のご死亡が確認されています。西澤弘太郎先生および皆様のご逝去に心より哀悼の意を表します。

先生は平成27年10年にショートケアでリワークプログラムを開始されると同時に、当協会の前身団体である「うつ病リワーク研究会」に会員として入会されています。将来のある49歳の若い精神科医で、リワークプログラムに熱心に取り組んでおられました。また、今回の火災がリワークプログラム開催中に発生したという報道もなされており、残念なことに被害者の中にはクリニックの職員や通院患者さんも数多く巻き込まれました。今回の事件に巻き込まれた被害者およびご遺族の方々の悲しみは想像を絶するものがありますが、当協会としましても当協会会員一同から哀悼の意をささげたいと思います。

事件を受けて、大阪精神科診療所協会などが中心となり、通院患者様の転院などの相談対応を始めていると伺っておりますが、通院先は確保出来ても、リワークプログラム実施施設ではないケースも想定されます。「西梅田こころとからだのクリニック」のリワークプログラムを利用中の患者さんで他の医療機関でのリワークプログラムを継続したいという希望がおありの方々におかれましては、通所に関するご相談など、当協会でも可能な限りの対応をしたいと思います。

今回の事件の容疑者の氏名は捜査当局から既に発表されており、現段階では、同院の通院患者であること、引火性の強いガソリンをクリニック内に持ち込みライターで着火したと報道されています。動機については容疑者が重体であることから不明ですが、今後の捜査により明らかとなることを期待しています。

リワークプログラムを行っていた医療機関においてこのような事件が発生したことは大きな衝撃であります。リワークプログラムでは集団でのプログラムの実施が重要な治療的要素であります。しかしながら今回の事件を通して協会としましては、プログラムを安全に行っていくことの重要性をあらためて認識し、同様の事態を招かないための努力や工夫を各施設で実施していく所存であります。

令和3年12月23日

一般社団法人 日本うつ病リワーク協会  
理事長 五十嵐良雄  
副理事長 佐久間 啓  
副理事長 横山 太範